

全道シルバー作品展で入賞

大久保さんと作品「孫」



美幌・大久保佳代子さん「孫」…12日まで展示

美幌町在住の大久保佳代子さん(75)の油彩画が、10月に札幌市で開かれた第32回全道シルバー作品展の北海道文化団体協議会会長賞を受賞した。大久保さんを含む市内の出展者5人の作品が12日まで、しゃきとプラザ1階に展示されている。

大久保さんの作品は「孫」で、現在、中学生の孫を小学3年生の時に描いた肖像画。孫を題材にした作品はこの作品以外にも多く描いているが「前を見つめるまなざし」をきっかけ

美 幌 道シルバー作品展の出品作品など展示

10~12日、しゃきとプラザ

北海道文化協議会主催の第32回「北海道シルバー作品展」(10月22日~26日、札幌市)に美幌町から5人が絵画や工芸作

られるとされる。平野町長は4~5年ほど前から椅子から立ち上がる際に足にしびれを感じていたという。

不在中は高崎副町長や矢萩教育長、さらに町職員と随時連絡を取り合う態勢を整える。公務復帰は22日の予定。

品などを出品し、大久保佳代子さん(75)は西2南3の油絵「孫」が絵画の部で北海道文化団体協議会賞を受賞した。今月10日からは5人の出品作品などをしゃきとプラザ1階ロビーで展示する。

北海道シルバー展への作品応募は、生きがいづくりクリエーター北海道シニアリーダーでびほろじく・ばくサークル輝會長の平田美木男さんが昨年引き続き窓口となり実施した。

出品作品は大久保さんのほか、中島雅昭さん(70)の木工品「3重の塔」と水彩画「ささ」、國方幸子さん(81)の刺繍画「牧野猛さん(79)」

新町IIの「写真」、川上庫造さん(77)の油絵「日の出」。しゃきとプラザでは道シルバー作品展への出品作品のほかに5人の他の作品4~8点ずつ、計30~40点を展示する予定。観覧無料。期間は12日までの3日間。

5人の作品に熱い視線

第32回全道シルバー作品展美幌町出展者5人展

きょうまでしゃきとプラザで開催

第32回全道シルバー作品展(10月22日~26日、札幌市)に美幌町から出品した5人の出品作品などを展示した「美幌町出展者5人展」が、きょう12日までしゃきとプラザ1階ロビーで開かれている。油彩画や水彩画、木工品、刺繍、写真、ポ

ールペン画という5人の個性あふれる作品が並び、来場者は熱心に鑑賞している。作品を展示しているのは油彩画の大久保佳代子さん(75)、西2南3II、木工品と水彩画の中島雅昭さん(70)、刺繍画の國方幸子さん(81)、写真の牧野猛さん(79)、新町II、ポールペン画の川上庫造さん

(77)の刺繍画。このうち大久保さんの作品「孫」が全道展で北海道文化団体協議会賞を受賞した。大久保さんは69歳から絵画を始め、ほぼ独学で腕を磨いてきた。現在は町内の絵画サークル「スペクトル」に所属し、活動している。入賞した油彩画「孫」は、大久保さんの孫で、現在中学2年生になる男の子が小学3

年生のころに描いた作品。大久保さんは「描いた当時、自分の絵を見て孫は笑っていました。良い思い出です。これから好きな絵を描き続けたいです」と話していた。会場には全道展出品作品の木工品「三重塔」と水彩画「ささ」(中島さん)や写真「婚約会見」(牧野さん)、ポールペン画「日の出」(川上さん)、さらに國方さんの「刺繍画」に加え、5人がこれまでに制作した作品が展示されている。

5人に全道展への出品を勧め、展示会を主催した生きがいづくりクリエーター・北海道シニアリーダーの平田美木男さんは「新型コロナウイルスの感染リスクを避けながら、自宅や自然の中で行う創作活動はウイルスコロナの新生活スタイル。作品展を通して町民にコロナに負けない元気を届けた」と話している。

